



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パーカーコーポレーション
 コード番号 9845 URL <http://www.parkercorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊藤 善和
 (氏名) 山崎 敏男
 配当支払開始予定日

TEL 03-5644-0600
 平成26年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,076	31.7	1,358	88.8	1,374	45.2	981	72.7
26年3月期第2四半期	17,517	20.0	719	11.2	946	40.2	568	52.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 872百万円 (△54.2%) 26年3月期第2四半期 1,902百万円 (313.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	37.89	—
26年3月期第2四半期	21.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	43,288	20,554	42.6
26年3月期	42,520	20,210	41.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,451百万円 26年3月期 17,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,600	10.2	2,250	18.7	2,300	△1.9	1,450	△12.0	55.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	26,801,452 株	26年3月期	26,801,452 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	895,165 株	26年3月期	893,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	25,906,920 株	26年3月期2Q	25,912,814 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、米国では雇用情勢や所得環境の改善を背景に住宅等への個人消費は緩やかな回復基調となりましたが、中東及び東欧での政情不安やアジア圏の成長鈍化から不安定な経済環境が継続しました。

わが国の経済につきましては、消費税率引上げに伴う反動や円安による資源価格の高騰、夏の天候不順等の影響により個人消費には伸び悩みが見られましたが、金融緩和策や経済対策により企業の景況感は緩やかに改善しました。

このような経済情勢の下、当社グループではマーケティング力の強化、生産体制の効率化推進、適地生産体制の更なる強化によりグローバル市場への販売強化を行ってまいりました。

その結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高は23,076百万円（前年同期比31.7%増）、営業利益は1,358百万円（前年同期比88.8%増）、経常利益は1,374百万円（前年同期比45.2%増）となり、四半期純利益は981百万円（前年同期比72.7%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

自動車業界向け製造装置及び食品業界向け材料等の受注は、前年同期並みに堅調に推移しましたが、食品及び製靴業界向けの製造設備物件の販売が減少しました。

当部門の売上高は、1,067百万円（前年同期比14.7%減）、営業損失は54百万円（前年同期の営業利益は9百万円）となりました。

・化成品部門

自動車業界向け製造販売は、国内市場では軟調に推移する一方、海外市場では好調となりました。また、前年12月に子会社化したアサヒゴム株式会社の製造販売が加わりました。

当部門の売上高は、7,112百万円（前年同期比93.1%増）、営業利益は738百万円（前年同期比106.5%増）となりました。

・化学品部門

前年同期の洗浄装置に相当する大型物件の受注はありませんでしたが、国内及びアジア地域での一般工業用及び特殊ケミカルの製造販売は堅調に推移しました。

当部門の売上高は、2,668百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は58百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

・産業用素材部門

国内、アジア市場共に自動車用及び家電用防音材の製造販売は好調に推移しました。また、アサヒゴム株式会社の子会社化による同社の自動車用防音材及び生活資材の販売が加わりました。

当部門の売上高は、9,181百万円（前年同期比36.0%増）、営業利益は569百万円（前年同期比162.4%増）となりました。

・化工品部門

アジア市場におけるファインケミカルの製造販売は好調に推移しましたが、国内市場でのカーケア関連ケミカルは、ガソリン価格の高騰や夏の天候不順の影響により低調に推移しました。また、前年同期での塗装設備に相当する大型物件の受注もありませんでした。

当部門の売上高は、1,633百万円（前年同期比14.1%減）、営業損失は0百万円（前年同期の営業利益は59百万円）となりました。

・その他部門

中国及びロシアとの貿易におけるケミカル品等の販売が好調に推移しました。

当部門の売上高は、1,413百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は46百万円（前年同期比139.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ767百万円増加し、43,288百万円となりました。主な要因は、商品及び製品の増加（510百万円）及び株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加（193百万円）によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ424百万円増加し、22,733百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加（619百万円）によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ343百万円増加し、20,554百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（871百万円）及び為替換算調整勘定の減少（267百万円）によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、751百万円の増加の6,361百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,570百万円（前年同期は937百万円）、減価償却費517百万円（前年同期は473百万円）、売上債権の増減額によるキャッシュ・フローの増加457百万円（前年同期は931百万円の減少）、法人税等の支払額469百万円（前年同期は214百万円）等により、1,662百万円の収入（前年同期は4百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規製造設備・自動車用金型等の有形固定資産の取得による支出679百万円（前年同期は533百万円）、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出143百万円等により、772百万円の支出（前年同期は800百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額によるキャッシュ・フローの減少460百万円（前年同期は264百万円の収入）、長期借入による収入950百万円（前年同期は1,300百万円の収入）、配当金の支払77百万円（前年同期は64百万円）、少数株主への配当金の支払266百万円（前年同期は18百万円）等により、9百万円の支出（前年同期は51百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画（平成26年5月13日付決算短信）に修正はありません。また、今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が50,837千円増加し、利益剰余金が32,719千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微となっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,628,820	6,364,043
受取手形及び売掛金	12,060,553	11,494,399
商品及び製品	2,966,481	3,477,330
仕掛品	427,978	404,632
原材料及び貯蔵品	1,346,851	1,186,652
繰延税金資産	306,792	310,299
その他	924,015	1,023,767
貸倒引当金	△7,478	△7,840
流動資産合計	23,654,014	24,253,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,542,221	7,450,332
減価償却累計額	△4,337,485	△4,400,707
建物及び構築物(純額)	3,204,735	3,049,624
機械装置及び運搬具	6,631,029	6,747,851
減価償却累計額	△4,712,960	△4,765,796
機械装置及び運搬具(純額)	1,918,069	1,982,055
土地	6,061,150	6,050,851
リース資産	589,109	524,551
減価償却累計額	△295,226	△306,463
リース資産(純額)	293,882	218,088
建設仮勘定	237,446	261,641
その他	3,828,501	3,895,380
減価償却累計額	△3,230,258	△3,270,520
その他(純額)	598,243	624,860
有形固定資産合計	12,313,527	12,187,122
無形固定資産		
借地権	609,829	615,064
リース資産	5,554	4,072
のれん	1,373	1,144
その他	141,917	191,236
無形固定資産合計	758,675	811,517
投資その他の資産		
投資有価証券	4,819,940	5,013,828
長期貸付金	61,631	63,000
繰延税金資産	23,501	22,330
その他	1,078,723	1,125,999
貸倒引当金	△189,422	△188,589
投資その他の資産合計	5,794,374	6,036,568
固定資産合計	18,866,578	19,035,209
資産合計	42,520,592	43,288,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,621,880	7,585,176
短期借入金	4,819,383	4,318,887
1年内返済予定の長期借入金	350,000	626,752
リース債務	164,291	117,119
未払法人税等	434,741	332,217
賞与引当金	518,086	516,701
その他	1,430,658	1,620,690
流動負債合計	15,339,042	15,117,544
固定負債		
長期借入金	4,038,248	4,658,221
リース債務	155,050	115,120
繰延税金負債	759,275	798,177
役員退職慰労引当金	209,816	208,802
退職給付に係る負債	1,667,766	1,697,735
資産除去債務	14,946	14,895
その他	125,495	123,252
固定負債合計	6,970,600	7,616,205
負債合計	22,309,642	22,733,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,205	2,201,205
資本剰余金	2,277,399	2,277,399
利益剰余金	10,502,667	11,373,938
自己株式	△204,056	△204,687
株主資本合計	14,777,215	15,647,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,350,694	2,495,763
繰延ヘッジ損益	5	868
為替換算調整勘定	600,881	333,329
退職給付に係る調整累計額	△29,189	△26,330
その他の包括利益累計額合計	2,922,393	2,803,630
少数株主持分	2,511,341	2,103,258
純資産合計	20,210,950	20,554,744
負債純資産合計	42,520,592	43,288,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,517,982	23,076,643
売上原価	13,444,787	17,427,496
売上総利益	4,073,195	5,649,147
販売費及び一般管理費	3,353,843	4,290,854
営業利益	719,351	1,358,292
営業外収益		
受取利息	15,206	18,050
受取配当金	24,409	25,439
負ののれん償却額	8,018	-
持分法による投資利益	88,644	24,055
為替差益	122,932	455
その他	27,300	46,271
営業外収益合計	286,511	114,273
営業外費用		
支払利息	38,723	61,826
その他	20,248	36,089
営業外費用合計	58,972	97,916
経常利益	946,890	1,374,649
特別利益		
固定資産売却益	501	2,693
投資有価証券売却益	-	123,911
負ののれん発生益	-	24,988
関係会社株式売却益	-	100
関係会社出資金売却益	-	885
保険差益	-	47,345
特別利益合計	501	199,924
特別損失		
固定資産売却損	8,857	46
固定資産除却損	723	2,755
減損損失	-	1,442
特別損失合計	9,581	4,244
税金等調整前四半期純利益	937,810	1,570,329
法人税、住民税及び事業税	256,722	380,708
法人税等調整額	3,487	△9,710
法人税等合計	260,209	370,997
少数株主損益調整前四半期純利益	677,601	1,199,331
少数株主利益	109,233	217,618
四半期純利益	568,367	981,713

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	677,601	1,199,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	348,830	115,593
繰延ヘッジ損益	△229	862
為替換算調整勘定	770,765	△480,661
退職給付に係る調整額	-	2,862
持分法適用会社に対する持分相当額	105,508	34,175
その他の包括利益合計	1,224,874	△327,167
四半期包括利益	1,902,475	872,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,566,689	862,950
少数株主に係る四半期包括利益	335,786	9,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	937,810	1,570,329
減価償却費	473,928	517,537
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△123,911
負ののれん償却額	△8,018	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,226	△368
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,059	△1,191
退職給付引当金の増減額(△は減少)	255	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	18,597
受取利息及び受取配当金	△39,615	△43,490
支払利息	38,723	61,826
持分法による投資損益(△は益)	△88,644	△24,055
有形固定資産除却損	723	2,755
有形固定資産売却損益(△は益)	8,356	△2,646
関係会社出資金売却損益(△は益)	-	△885
減損損失	-	1,442
負ののれん発生益	-	△24,988
為替差損益(△は益)	△67,556	4,975
売上債権の増減額(△は増加)	△931,667	457,315
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,227	△448,412
仕入債務の増減額(△は減少)	113,682	10,241
その他	△210,466	169,488
小計	210,115	2,144,557
利息及び配当金の受取額	44,107	49,327
利息の支払額	△35,124	△61,798
法人税等の支払額	△214,412	△469,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,685	1,662,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	5,172	16,032
有形固定資産の取得による支出	△533,615	△679,048
有形固定資産の売却による収入	2,450	4,550
無形固定資産の取得による支出	-	△143,175
投資有価証券の取得による支出	△4,219	△4,368
投資有価証券の売却による収入	-	161,351
貸付けによる支出	△260	-
貸付金の回収による収入	292	174
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	-	85,114
関係会社出資金の払込による支出	△242,514	-
連結子会社出資金の追加取得による支出	-	△90,326
その他	△28,190	△122,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△800,887	△772,233

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	264,783	△460,008
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△119,370	△101,228
長期借入れによる収入	1,300,000	950,000
長期借入金の返済による支出	△1,310,000	△52,986
配当金の支払額	△64,788	△77,722
少数株主への配当金の支払額	△18,021	△266,598
その他	△911	△631
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,690	△9,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	282,600	△129,757
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△461,910	751,216
現金及び現金同等物の期首残高	5,220,567	5,609,820
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	38,393	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,797,050	6,361,037

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,251,617	3,684,406	2,730,569	6,750,717	1,901,785	16,319,097	1,198,884	17,517,982	—	17,517,982
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,416	62,358	23,610	38,409	157	132,953	59,259	192,212	△192,212	—
計	1,260,034	3,746,765	2,754,180	6,789,127	1,901,943	16,452,050	1,258,144	17,710,195	△192,212	17,517,982
セグメント利益	9,691	357,822	55,856	217,172	59,209	699,753	19,598	719,351	—	719,351

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸・介護機器を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,067,567	7,112,622	2,668,249	9,181,225	1,633,656	21,663,320	1,413,322	23,076,643	—	23,076,643
セグメント間の 内部売上高又は振替高	65,995	373,932	65,689	158,571	298	664,487	67,395	731,882	△731,882	—
計	1,133,562	7,486,555	2,733,938	9,339,796	1,633,955	22,327,808	1,480,717	23,808,526	△731,882	23,076,643
セグメント利益又は 損失(△)	△54,924	738,817	58,118	569,826	△478	1,311,359	46,932	1,358,292	—	1,358,292

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。